



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月26日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜田 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 新保 守 TEL 06-6202-3376  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,123	△15.0	△1	—	△13	—	△23	—
23年3月期第2四半期	2,497	19.0	136	—	93	—	78	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.03	—
23年3月期第2四半期	3.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,797	2,845	49.1
23年3月期	6,181	2,892	46.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,845百万円 23年3月期 2,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では平成24年3月期の期末日の配当予定額は未定であります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,540	△7.1	114	△41.4	83	△31.0	70	13.7	3.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、放射線防護服の損益に与える影響につきましては、上記の業績予想に加味しておりません。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	23,380,012株	23年3月期	23,380,012株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	155,458株	23年3月期	146,178株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	23,230,860株	23年3月期2Q	23,272,835株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信、【添付資料】P.3「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、「東日本大震災」の影響によるサプライチェーンの寸断や消費の自粛ムードから脱し、徐々に回復しつつある一方で、継続する電力不足、円高の長期化等先行きの不透明感を払しょくできないまま推移いたしました。

また、世界の経済情勢においても、欧州財政問題の深刻化や新興国の成長鈍化、米国経済の減速等、不安定さを増してまいりました。

このような状況下当社は、経営再建に向けて、当社の強みである小径、異型の小物焼成技術・加工技術の深化と成長分野への新製品投入に注力してまいりました。

しかしながら当第2四半期累計期間においては、一般照明用タングステン・モリブデン線条製品の落ち込み、円高及び海外メーカーとの価格競争の影響によるレンジ用モリブデン加工品の減少をカバーできず、売上高2,123百万円、前年同四半期累計期間対比15.0%の大幅な減収となりました。

損益面では、生産減少による原価率の上昇や円高の影響に加えて、製品開発費用の増加等による販管費比率の悪化によって、1百万円の営業損失(前年同四半期累計期間は136百万円の営業利益)となりました。

雇用調整助成金の計上による営業外収益の増加、支払利息、為替差損等の営業外費用の減少によって営業外損益は前年同四半期累計期間に比べて改善したものの、経常損失は13百万円(前年同四半期累計期間は93百万円の経常利益)となりました。

また、受取保険金7百万円を特別利益に計上し、旧深川工場の第二期取壊費用6百万円、遊休土地の時価下落に伴う減損損失6百万円等を特別損失に計上した結果、四半期純損失は23百万円(前年同四半期累計期間は78百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

## (電気・電子)

タングステン・モリブデン製品は、レンジ用モリブデン加工品、タングステン及びモリブデン線条製品が大幅に減少し、売上高は1,129百万円(前年同四半期累計期間対比20.4%減)となりました。

合金及び電気・電子部品は、光通信用タングステン合金の減少により、売上高321百万円(前年同四半期累計期間対比20.8%減)となりました。

その他の製品は、自動車用電極が増加した結果、売上高537百万円(前年同四半期累計期間対比3.6%増)となりました。

この結果、電気・電子合計は売上高1,989百万円(前年同四半期累計期間対比15.2%減)となり、営業利益は15百万円(前年同四半期累計期間は150百万円の営業利益)となりました。

## (超硬合金)

超硬合金の売上高は134百万円(前年同四半期累計期間対比11.8%減)となり、営業損失は17百万円(前年同四半期累計期間は13百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、3,510百万円(前事業年度末は3,907百万円)となり、397百万円減少しました。

現金及び預金が194百万円の減少、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産が176百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,287百万円(前事業年度末は2,273百万円)となり、13百万円増加しました。

有形固定資産が21百万円減少、無形固定資産が3百万円増加、投資その他の資産が31百万円増加したこと等が主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,800百万円(前事業年度末は1,980百万円)となり、180百万円減少しました。

支払手形、買掛金等の仕入債務が102百万円減少、未払金が80百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、1,152百万円(前事業年度末は1,308百万円)となり、156百万円減少しました。

長期借入金が125百万円減少、退職給付引当金が51百万円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,845百万円(前事業年度末は2,892百万円)となり、47百万円減少しました。

四半期純損失23百万円、その他有価証券評価差額金が21百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の状況を踏まえて、平成23年5月11日付「平成23年3月期 決算短信」にて公表した通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	977,792	783,339
受取手形及び売掛金	1,240,907	1,222,140
商品及び製品	122,117	131,398
仕掛品	938,115	876,083
原材料及び貯蔵品	584,826	460,952
その他	53,366	46,686
貸倒引当金	△9,336	△9,921
流動資産合計	3,907,789	3,510,680
固定資産		
有形固定資産		
土地	891,630	885,160
その他(純額)	890,703	875,204
有形固定資産合計	1,782,333	1,760,364
無形固定資産	10,135	14,097
投資その他の資産		
その他	504,389	530,300
貸倒引当金	△23,485	△17,624
投資その他の資産合計	480,904	512,676
固定資産合計	2,273,373	2,287,138
資産合計	6,181,163	5,797,818
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	560,255	457,507
短期借入金	1,101,600	1,092,100
未払法人税等	14,158	8,302
賞与引当金	69,803	68,819
その他	234,355	173,423
流動負債合計	1,980,174	1,800,152
固定負債		
長期借入金	888,900	763,600
退職給付引当金	311,286	259,806
役員退職慰労引当金	61,185	62,230
その他	46,782	66,431
固定負債合計	1,308,154	1,152,067
負債合計	3,288,328	2,952,219

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	74,188	50,292
自己株式	△23,177	△24,025
株主資本合計	2,820,634	2,795,889
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,200	50,434
繰延ヘッジ損益	—	△725
評価・換算差額等合計	72,200	49,708
純資産合計	2,892,834	2,845,598
負債純資産合計	6,181,163	5,797,818

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,497,836	2,123,846
売上原価	2,059,403	1,752,026
売上総利益	438,433	371,820
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	93,332	122,382
賞与引当金繰入額	12,467	17,841
役員退職慰労引当金繰入額	7,885	9,475
退職給付費用	12,159	15,510
減価償却費	10,130	12,153
貸倒引当金繰入額	—	593
その他の一般管理費	165,507	195,368
販売費及び一般管理費合計	301,482	373,324
営業利益又は営業損失(△)	136,950	△1,504
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,827	7,466
助成金収入	—	13,120
その他	5,561	3,371
営業外収益合計	11,389	23,957
営業外費用		
支払利息	24,101	17,477
為替差損	16,590	7,856
その他	14,450	10,453
営業外費用合計	55,141	35,787
経常利益又は経常損失(△)	93,198	△13,334
特別利益		
受取保険金	—	7,119
貸倒引当金戻入額	5,722	—
固定資産売却益	449	—
特別利益合計	6,171	7,119
特別損失		
減損損失	9,830	6,470
固定資産除却損	—	6,411
投資有価証券評価損	—	1,492
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,826	—
ゴルフ会員権評価損	1,675	—
特別損失合計	13,331	14,373
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	86,038	△20,588
法人税、住民税及び事業税	3,603	3,603
法人税等調整額	4,043	△295
法人税等合計	7,646	3,308
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,392	△23,896



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。